

群馬県議会 リベラル群馬

県政の革命児!

# 県議会だより

# 後藤かつみ

vol.18

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所  
住所 高崎市八幡町800-24  
TEL&FAX 027-343-1393  
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com  
http://www.ccrgoto.com/



知事が女性を知事公舎に宿泊させた問題については、報道以降、県議会では「オール与党」である状況を背景に、知事公舎問題をとり上げることは「タブー」といった空気でありました。

後藤としては、大澤知事の4年間の県政運営については、各界からの歳出圧力に对应しつつも健全財政を維持してきた手腕など、一定の評価をすべきという立場です。

しかし、議会と知事との関係はあくまで

## 知事公舎問題

# タブーを恐れず「是々非々」の姿勢で切り込む

7月末で知事公舎から退去しています。危機管理の専門部署を新設するなど、危機管理を重点施策としてきた知事が何故突如公舎を出たのかに関心が集まっています。

期を一にして、知事はかを痛感させられました。この問題に対し知事は「第三者委員会(過半数は職員で構成)で検討してもらおう」と当面は、太田から県庁まで1時間で行けるし、いざとなれば携帯電話や防災無線等でやりとりできる」と言った答弁をしています。

後藤は、第三者委員会などで議論する話ではない。有事の際には知事に代わる人はいないことを自覚し、知事自身の判断で速やかに公舎に戻るべきと指摘しました。

## 危機管理のトップとしての自覚を問う



リベラル群馬で福島県相馬市の復興の取り組みを調査(災害対策本部にて)

## 本会議一般質問に登壇

### 海外視察復活の動きに警鐘

← 【 田中正造 - たなかしょうぞう - 】  
1841年～1913年 栃木県出身の政治家。  
足尾鉍毒事件(銅山開発により渡良瀬川流域が鉍毒に侵された事件)を国会で追及。その後も、天皇直訴や被災民の救済運動に身を投じ、鉍毒事件との闘いに生涯を捧げた。

県議会では過去に党サイドから盛んに上委員会活動の一環として、県内・県外視察に加え、「海外視察」として1人100万円の予算が計上されています。後藤は、この議会の動きに警鐘を鳴らすため、①海外に出る勉強算が計上されているが、視察の状況が「任期中に1度の楽しみ」などとマスコミに批判的に報道されたことを受け、小寺前知事時代の2006年度から予算を凍結し、今に至っています。



田中正造翁の像の前にて、信念を貫く議会活動を誓う



# 群馬型の産業戦略、街づくり政策について政策提言

各県のオンリーワンの  
取り組みに触れる

群馬の「強み」を活かした新成長戦略を提言

後藤は、毎回の議会質問において常に、若い世代が郷土群馬で希望を持って働ける雇用環境を作るためには、群馬の特徴を活かした新しい産業を創出することが不可欠であると主張してきました。

今議会では、現政権のもとで成立した「再生可能エネルギー特措法」により、太陽光や水力などの再生可能エネルギー関連の産業は現在の1兆円市場から2020年には



岡山県・徳島県の次世代産業育成の成長戦略を視察(写真は徳島県庁にて)

今議会では後藤は、群馬県の強みである日照時間の長さ、豊富な森林・畜産由来のバイオマス資源などを活かして、太陽光やバイオマス発電を県内に普及することを提言。

そして同時に、電気自動車や蓄電池を開発する企業が立地している強みを活かして、これら次世代産業への県内企業の事業進出を積極的に支援することにより、県内に新たな産業・雇用を創出するべきと提言しました。

知事も、年度内に太陽光発電等の導入目標を具体的な数値目標として打ち出すことを明言しました。

後藤は、議会質問の度に、高齢化社会を見通し、車社会一辺倒に突き進んできた拡大型の街づくりのあり方を根本から見直すことを提言しています。

8月には、富山県・石川県における、公共交通を軸としたコンパクトな街づくりのあり方を視察調査しました。

特に、富山県は群馬以上のマイカー王国ながら、LRT(次世代型路面電車)を導入する

## 公共交通を軸とした群馬型コンパクトシティを提言

後藤は、視察調査の結果を踏まえ、まずコンパクトな街づくりのあり方を提言しています。

従来、コンパクトな街づくりというと、例えば高崎ならば高崎駅周辺の中心部に都市機能を集約するという考え方がありますが、それでは群馬県の実情に合わないと考えます。

後藤は、視察調査の結果を踏まえ、まずコンパクトな街づくりのあり方を提言しています。



富山県のLRT(次世代型路面電車)

など、インパクトある施策で、市民の足を公共交通に戻す取り組みを進めています。

そして鉄道駅やバス停の周辺になるべく住んでもらうための居住促進策を進めることにより、公共交通路線の軸にお団子のように人口集中地域が形成される「群馬型」のコンパクトな街づくりを提言しました。

# 地域活動報告

豊岡地区



406号沿いの雨水対策としてグレーチングの設置と未舗装部分の舗装を実施

上台地区の長年の懸案だった市道の水道工事後の仮舗装状態を本舗装に復旧し、静かな道路に

